

「古墳時代における都市化の実証的比較研究—大阪上町台地・博多湾岸・奈良盆地」

第5回研究会

『奈良盆地の様相』

本研究は、都城制以前の都市化の歩みを、より実証的に明らかにすることを目指しています。これまで、古環境復元を活かして、経済・外交拠点であった大阪上町台地と博多湾岸の地域間比較、食料・木材・手工業品などの必需物資の需給を取りあげてきました。今回は、政治拠点、王宮の所在地であった奈良盆地の実態について、地域や時代ごとに調査・研究の成果を発表していただきます。多くの皆さまのご参加をお待ちします。



1. 辻 康男 氏 (パリオ・サーヴェイ株式会社)

「遺跡発掘調査結果にもとづく完新世後半の奈良盆地の地形発達史」

2. 橋本輝彦 氏 (桜井市教育委員会)

「纏向遺跡と都市化について考える (仮)」 弥生時代後期～古墳時代初頭

昼食休憩(12:30-13:30)

3. 中野 咲 氏 (奈良県立橿原考古学研究所)

「奈良盆地北部の集落遺跡の動態と都市化 (仮)」 古墳時代前期～中期

4. 青柳泰介 氏 (奈良県立橿原考古学研究所)

「南郷遺跡群の都市化について考える —葛城地域集団の生存戦略—」

古墳時代中期～後期

5. 鈴木一議 氏 (奈良県立橿原考古学研究所)

「飛鳥の「都市」化 —集落遺跡等の動態から—」 古墳時代後期～飛鳥時代



日 時 : 2018年2月17日(土) 10時30分～16時45分

場 所 : アネックス パル法円坂3階1号室 (大阪府中央区法円坂1-1-35 TEL. 06-6943-5021)

JR 環状線森ノ宮駅、地下鉄中央線・長堀鶴見緑地線森ノ宮駅②出口より西へ徒歩10分(600m) 地下鉄谷町線・中央線⑩⑪出口より東へ徒歩8分(500m)

参加費 : 無料 (定員70名先着順)

問合せ : 大阪文化財研究所 (TEL. 06-6943-6833)

本会は、科学研究費助成事業基盤研究(C)「古墳時代における都市化の実証的比較研究—大阪上町台地・博多湾岸・奈良盆地」(研究代表:南秀雄)によるものです。